

まったく不思議な夢です この夕暮れの坂道を歩く夢を 何度も何度も見ます 特に疲れて床についた時 寝入ってすぐに出てきます しかもびっくりするほど鮮明な夢で 夢というよりは そのまま現実はこの道を歩いている感じです 手すりの感覚や 外灯の明るさ マツムシの声 霧雨にぬれた路面の冷たさまでわかる夢です たぶん子どもの頃 ここを歩いたことがあるはずですが しかしいつなのか どこなのか どうしても思い出せません それは仕方ないのですが 私が夢に見る情景の中では 一番美しい風景です



これが完成した絵です



1、背景も実景も すべて薄紫色です そこに樹木や枝を 濃い紫色で描きます



2、構図の中核となる樹木の幹も あまり立体感を気にせず 紫で面的に塗ります



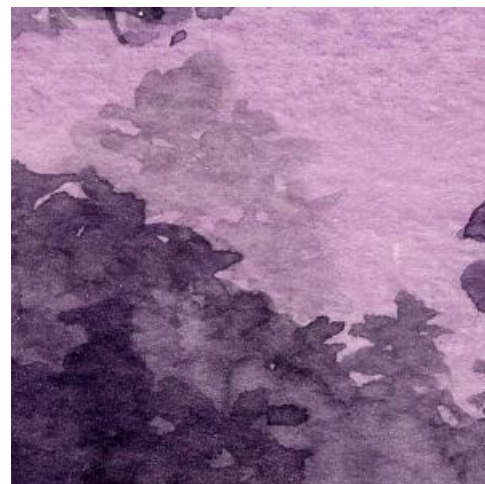
3、この街灯は重要です 街灯の周囲を 白のパステルでぼかしておきます



4、遠くの街灯列にも 白のパステルでぼかしをつけます



5、灯火の路面への反映は 白パステルを下に伸ばして表現します



6、近くの樹木のシルエットよりも 遠くの樹木のシルエットを より薄くします